

Ku Sh

Audio

UBK FATSO



取り扱い説明書

www.umbrella-company.jp

UBK FAST0 は世界でも最も複雑なアナログ・シグナル・プロセスを実現したアウトボードの一台です。しかしながらコンプレッサー機能はワンノブコントロールのシンプルな7プリセットタイプです。結果シンプルな操作で複雑なアナログ回路の全てがコントロールされ、音楽的なサウンドを簡単に手にいれることができます。クリエイターのイマジネーションを最大限に引き出す深みのあるサウンドが魅力です。

アナログオプティマイザーとしての素晴らしさはオリジナルモデルの FATS0 Jr (EL-7) で証明済みですが、この UBK FATS0 ではコンプレッサー機能がもはやオマケのようなものでは無いことを実証しています。テープエミュレーターによる音楽のバィブ、美しい倍音が付加された温かいアナログサウンド、そしてこのシンプルな UBK FATS0 のアップグレードされたコンプレッサーは音楽制作のアプローチを変えてしまうほどのインパクトを持っています。

WORLD'S A STAGE

UBK FATS0 は4系統のパワフルなディスクリートのプロセッシングステージを備えています。

- 1、サーチュレーションと倍音
- 2、FET コンプレッション
- 3、WARMTH(高周波リミッティング=アナログテープ質感)
- 4、トランスフォーマー

STAGE1 : SATURATION and HARMONIC OVERDRIVE

コントロールは極めてシンプルです。Input ノブを上げていくと UBK FATS0 の倍音付加機能は複雑なステージを制御し、サーチュレーションをサウンドに加えていきます。Input を下げっていくとサーチュレーションは少なくなります。アナログ磁気テープのような温かい倍音成分をコントロールしています。COMFY LED が点灯すると UBK FATS0 はソフトクリップしはじめ倍音を加え始めます。TOASTY LED が点灯すると今度は：より強くアグレッシブな倍音付加サウンドになっています。

STAGE2 : COMPRESSION

コンプレッサーを有効にするには SPLAT/SMOOTH/SPANK/GLUE の LED を点灯させます。合計 7 つのコンプレッサーパターンが選択できます (4 タイプはパネルに名称がプリントされています。残り 3 種類はその組合せです)

Splat -- API コンソールのコンプレッションにインスパイアされました。ボーカルやエレクトリックギターをファットに、クリーミーに、確実にエンハンスしてれる最高のコンプレッサーサウンドです。

Smooth -- はクラシックなリミッティングに特別なひとひねりを加えています。このセッティングはトラッキングに最適なりミッターとして重宝するでしょう。6-10dB のピークを引っ掛けても全てをナチュラルに保ちます。パーフェクトな日曜日のようなミュージカルトーンがさすががしいサウンドです。

Glue -- はその名の通り接着剤のように楽器をあるべき場所に落ち着かせてくれる魔法のようなプリセットです。例えばベースサウンドはミックスの中でのいるべき場所を みつけ、サウンドはこの上なく丁度良くなります。サウンドはクリーンでクリアーでいながら十分にラウドとなりますが、ミックスの中ではきちんと収まってく れます。どんな楽器でも良好な結果が得られるはずです。

Spank -- SSL コンソールのトークバックコンプの再現です。深く強くかかるリミッティングはギターのコンプにも最高です。Spank は他の Splat や Glue などと組み合わせて使用する事で無限のコンプレッションサウンドをコントロールできます。

Splat + Spank - 1960 年代後半のアビロードスタジオのようなサウンドです。クリーミーで温かいコンプサウンドです。

Glue + Spank - 1176 のボタン 4 つ押しのようなサウンドです。ドラムのバスコンプにこのプリセットほど最高なサウンドはありません。

STAGE3 : WARMTH

アナログテープに録音されたサウンドは高周波が軽くリミッティングされたような(テープコンプ、磁気テープの飽和感) サウンドになります。この温かい魔法のようなサウンドは特にデジタルレコーディングにおいて重宝されています。WARMTH セクションはこのテープコンプレッションを最高の手法で再現しています(デジタルのプラグインのようなシミュレートではありません! アナログ回路により本物のアナログサウンドです!)。WARMTH を7段階で調整することができます。

STAGE4 : TRANSFORMER COLORATION

トランスフォーマーのサウンドはビンテージサウンドを最も再現できるものです。UBK FATS0 では内蔵のトランスを通過したサウンドをオン/オフすることができます。TRAFO と記入された LED が点灯している時にはトランスフォーマーが有効です。リンクスイッチが有効の場合には TRAFO も両チャンネルでリンクされます。

STEREO LINK MODE

FATS0 をステレオでリンクさせる時には両チャンネルの WARMTH コントロールを同時にプッシュしてください。オレンジの LINK LED がリンクすると点灯します。FATS0 のステレオリnkは FATS0 の全ての機能をリンクするものではないので注意が必要です。ステレオリnkが有効なときにリンクするのは

- 1、CH1 で設定されたコンプレッサーの様々な要素(アタック/リリース/ニーや WARMTH のセッティングによって算出されたゲインリダクションの量)を CH2 に与えます
- 2、CH1 の Bypass と TRANNY のセッティングが CH2 に反映されます(必ず両 CH の設定を同じにした状態でステレオリnkを掛けて下さい)

ステレオリnkをするときには CH1 と CH2 の全てのパラメーターを同じに設定してから行うのが良いでしょう。

また 5.1CH などの用途に利用される場合は、バックパネルの External Link ジャックをもう一台の FATS0 にフーンジャックで接続すればユニット同士をリンクさせられます。ゲインリダクション量がマッチされ 3 台の FATS0 を 5.1CH のアプリケーションで使用することが可能です。